

知教労と半田市教育委員会との話し合い結果

半田市教育長 鈴木 慶光 教育部長 岩橋 平武 学校教育課長 沼田 昌明 主任指導主事 波田 聡
副委員長 岩澤 弘之 澤田安利 岡田 康

1 労働安全衛生法にもとづき、教育委員会として適正なマネジメントを進めてください。

(知教労) 県の多忙化解消プランでは、今年度中に80時間以上の超過勤務を0%にするということだが、半田市の進捗状況は。

(教委) 今年度中の達成のために努力している。(各学校から上がってくる)報告を集計している。7・8月は0%だったが、4月や9月は(特に)達成されていない。

(知教労) (知教労での調査では) 半田市は、全体としてはここ4年間で80時間超は減少しているが、中学校は昨年からは減っていない。

(教委) 部活動に由来する要因が大きい。部活動に関しては、市のガイドラインに即した取り組みを進めているが、地域の期待などもあり、活動に熱が入る。やりがいを感じてのこととは思いますが、決して(そのことを)よしとはしていない。

(知教労) 各学校に労働衛生委員会を設置しているか。

(教委) 50人以上の2校に設置している。

(知教労) 衛生推進者はどの教諭をもって任命しているか。

(教委) 各校の校長を当てている。

(知教労) それではアクセルとブレーキが一緒になった状態と言われても仕方ない。

(教委) 今後もし正すところは是正していくとともに、教育委員会として正しい知識を提供したい。

(知教労) 休憩時間の記録について、半田市は昨年度からシートに休憩時間が取れなかったことを記入する欄ができた。4月には説明のあった学校もあった。しかし、実際には記入されていないことがほとんどだ。

(教委) 引き続き(休憩時間の扱いについては正確にさせることを)校長会で、シートの書き方について伝えるようにする。

(知教労) 超過労働時間が80時間を超えた者の産業医への受診希望はあったか。

(教委) あった。(希望した職員は1名)

(知教労) 留守番電話の導入についてはどうか。

(教委) 一部には「職員室に電気が点いているのに電話に出ないのもどうか」と言う人もいる。あるいは、考え方によっては、(せっかく留守番電話がついたのに)電話が掛かってこないのも、静かだから仕事ははかどり、長居につながるという考えもできる。これは間違いで、早く帰ることが先決だ。

(知教労) 泊を伴う行事の割振りでも情報公開を取って集計したが、学校によっては、休憩時間を1日3時間(以上)計上し、しかも列車やバスの車内で適宜となっている。一方で1日1時間半程度、だれがどこのタイミングで取るのかまで指定しているところもある。

(教委) 学校ごとで、上手く対応していただいていると思っている。

(知教労) 8時間以上の勤務で1時間の労基法上の規定があり、そのことを遵守するというならば、児童・生徒がいて実質的に休憩など取れない状況ならば、せめて時間や順序を指定し、1時間半程度に設定するのは常識だ。事前に計画書が市教委に出ているはずなのでチェックできるはずだ。

(教委) 事前に出してもらっている。実態に沿うように引き続き指導していきたい。

(知教労) 文科省が導入を目指している1年ごとの変形労働制だが、市町として導入には反対してほしい。

(教委) 周りの市町はどれも慎重に考えていく方向と認識している。

2 学校行事や事務などが職員の負担にならず、教員の自主的な研修が保障できるようにしてください。

(知教労) 今年度の学校訪問でA4一枚の指導案になった学校は何校だったか。

(教委) 2校あった。

(知教労) 私たちとしてはその方向で進めてもらいたい。教育委員会としての考えは、

(教委) A4化によって単元の目標や学習の計画がカットされるため生徒の実態、単元全体を捉えて本時の授業を考えなくなることが心配だ。

(知教労) 学校訪問の時期的な問題で全体まで見渡し、2か月前までに指導案を考えることは負担だ。校内の自主的な研修なども活用して補えば、(教育委員会の挙げた不安を解消することは)可能だ。

(知教労) 教務・校務主任の持ち時間数が極端に少ない場合は正してほしい。(実質)持ち時間が0の教頭も一時期鳴りを潜めていたが、また復活しているように思える。生徒の実態を知るといいう意味でもきちんと持たせるようにしてほしい。

(知教労) 行事の精選を進めていく上で、職場体験学習は取りやめる方向で考えられないか。

(教委) 昨年のご指摘いただいたが、半田市はキャリア教育を指導の目玉にしている。今のところやめる考えはない。

(知教労) アポイントメントを取ったり、キャンセルが出たら謝ったりと教員の準備や後始末が大変だ。

(教委) 市教委としても事業所との調整をするなど協力をしている。行事の精選に関して言えば、2分の1成人式をやめたのとごんごん駅伝も取りやめた。

(知教労) 地域の行事やボランティアに児童・生徒を動員するときに(生徒指導主事などの)職員の負担が大きい。本来は管理職がやればよい。

(教委) コミュニティスクール制度で地域の組織の方が入ることができるように工夫している。

3 部活動の適切な運営について検討してください。

(知教労) 朝部活の廃止についてはどうか。

(教委) 6・7月は朝部活をしないという方向で進んでいる。

(知教労) 他市町の取り組みも進んできている。朝部活の全面中止を決めた市町もある。

(知教労) 部活動を指導するかどうかを希望制にしてほしい。

(教委) 複数の教員を配置して一人に負担が掛からないようにしている。

(知教労) 勤務時間内に収まらない部活に管理職が任命することはできない。

4 ゆきとどいた教育を実現するため、教育諸条件の充実を求めていってください。

(知教労) 給食費などの集金事務に充てる人員の新設をしてほしい。

(教委) 実情は理解している。生活支援員などの学校に対する補助員は今年も増員をしているし、これからもしていく方向性だ。給食費の徴収事務については、給食センターとも協力し、具体的な策を考えていきたい。

(知教労) 普通教室へのエアコン設置ありがとうございました。引き続き特別教室への導入をお願いします。

音楽室など暑くて児童・生徒が行きたがらない。少人数指導の教室にもつけてほしい。

(教委) これから順次校舎の建て替えを進めていく予定だが、建て替えの際には全部の教室に標準装備が基本ということになると思う。時間はかかるのでそれまでの間に特別教室に設置するかは個別に考えなくてはならない。

(教委) 児童・生徒の使用する稼働率を考えて高い所から設置していこうと考えている。日本語教室や(避難地区となっている)体育館にも設置していきたい。建て替えの時にプレハブに設置したものの有効活用も考えたい。

(知教労) 生徒のトイレと職員のトイレの洋式化に加え、シャワートイレの設置を進めてもらいたい。

(教委) トイレの洋式化は進めていったが、学校によってはシャワートイレが一つもないところがあるのは事実だ。板山小は今年保健室のトイレをシャワートイレにするなど、少しずつ進めている。時代の流れもあり、多目的トイレの設置も必要だということも言われている。

5 その他

(知教労) 教育振興会や教職員会の出版物を特別扱いすべきではない。出版物をつくるための出張は、取りやめるべきだ。

1時間余りの実りある話し合いありがとうございました。